



成田空港南R.C. 会長テーマ

なごみ

**和**



例会日時 毎週木曜 12:30点鐘  
(最終例会 18:30点鐘)  
例会場 中国ダイニング富士屋

事務局 〒289-1732 千葉県山武郡横芝光町横芝1519-6 URL <http://www.narita-airport-m-rc.jp>  
TEL. 0479-80-1177 FAX 80-1178 E-mail [info@narita-airport-m-rc.jp](mailto:info@narita-airport-m-rc.jp)

第2790地区ガバナー 織田 吉郎 第6分区ガバナー補佐 小川 秀二

平成22年11月18日発行 NO.1949 第2077例会 会長 森川 忠 幹事 行木 英夫 会報担当 越川 忠

## 例会報告(平成22年11月18日)

点	鐘	会 長	森川 忠
ソ	ン		「奉仕の理想」
唱	和		「四つのテスト」
会 長	挨 拶	会 長	森川 忠
会 務	報 告	会 長	森川 忠
幹 事	報 告	幹 事	行木英夫

プログラム

お客様

地区職業奉仕研修委員 片岡 正勝様  
各委員会報告

動的でした。今回は登録料が無料ということでやや心配もしていたところですが織田ガバナー並びに7分区の皆様には大変お世話になり感謝申し上げます。さて、本日は卓話に地区職業奉仕研修委員、八日市場RC所属片岡正勝様にお越しいただきました。「なぜ、職業奉仕を大切にするのか」というテーマでお話ししていただくことになっております。どうかよろしく願いいたします。

## 会務報告

①11月14日習志野市津田沼の千葉工業大学で行われた、習志野中央RC創立25周年・ローターアクト20周年記念式典に私と行木幹事、当クラブ地区委員お二人でお祝いに駆けつけました。中国からの米山留学生「沈 媛」さんのエレクトーンの演奏、記念講演として千葉工大惑星探査研究センター所長「松井孝典」先生の「宇宙と生命」には大変感動させていただきました。周年行事もクラブごとに特徴があり参考にさせていただきました。

②11月15日ロータリー音楽祭の打ち合わせを参加中学音楽担当の先生と実行委員で打ち合わせをしました。当日は移動例会とさせていただきますので全員の皆様の出席をお願いいたします。

③11月26日当クラブ担当であづま庵にて第6分区の会長幹事会があります。

## 会長挨拶



みなさんこんにちは。11月も半ばを過ぎまさに晩秋という陽気の今日この頃です。風邪などひかぬよう健康にはお気を付けねがいます。先の11月6、7日の地区大会には多くの会員の皆様にご参加いただき本当にありがとうございました。開催地が銚子ということで“海の町”に相応しいおもてなしで地域の特徴のある素晴らしい地区大会と感じました。初日のRI会長代理の田中毅様のご講演や二日目の元RI会長のビチャイ・ラタクル氏の「奉仕の理想」のテーマの基調講演はロータリアンとして今一度原点に立ち返り、奉仕について考えさせられるものでした。そして音楽を中心としたアトラクションにも感

## 幹事報告

①会報受領クラブ

・多古RC ・八日市場RC ・旭RC

②ハイトよねやま129号(11月12日発行)が届いております。

③11/25夜間移動例会はなんじゃもんじゃさんのご好意によりR事務所から車を出して頂く事になりました。後程、調整させていただきます。

## ■ 長寿ロータリアン

11月7日 地区大会で椎名鎌一郎会員(85歳)が長寿ロータリアンとして表彰されました。



写真左から 椎名会員と森川会長

## ■ 会員卓話

「なぜ、ロータリーは  
職業奉仕を大切にするの



第2790地区職業奉仕委員会

職業奉仕研修委員

片岡 正勝様

皆様、今日は。地区職業奉仕研修委員会から参りました片岡でございます。所属は八日市場RC、職業分類は菓子製造販売です。本日は職業奉仕についての卓話(フォーラム)とすることで貴重なお時間を賜り、誠に有難う御座います。地区職業奉仕委員会富委員長様には大変お世話頂いております。出身クラブで卓話と言うのは気が引けますので、無理なお願いをいたしまして私が貴クラブへ訪問出来るようご配慮を頂きました。役不足ではございますが宜しくお願い申し上げます。

さて、成田空港南RCの皆様には日ごろお世話になっております。また、商売の上でも大変お世話いただいております。高い席からではございますが、改めまして厚く御礼申し上げます。有難う御座います。

先年には八日市場ロータリークラブの例会に向後さんはじめ多数の会員の皆様にご訪問頂き、有難う御座いました。研究熱心なクラブと感嘆しておりました。

実際、如何でしたでしょうか?参考になりましたでしょうか?

一方、貴クラブの活動計画書は素晴らしい出来です。会長エレクトの時に細則変更の必要が生じ参考にさせて頂きましたが、次元が高くクラブ活性化に貢献している様子が見て取れました。改めまして感謝申し上げます。

さて、一年前に現織田ガバナーより「次年度地区委員をお願いしたい。」と頼まれました。「RCは、頼まれればノーとは言わない。」とされているようです。しかも「さしたる用事はないから名前だけでも。」と言うことで安易にお受けしてしまいました。

新年度が始まると「職業奉仕委員会は地区の最枢要委員会で、職業奉仕の伝道者になって欲しい。については84クラブに卓話の要請をしているから宜しく頼む。」と言う事です。

現在54クラブから派遣の御依頼がございます。これを5人の委員で嬉しい悲鳴を上げながら、クラブを訪問させて頂いております。

一方、地区職業奉仕委員会は土屋亮平パストガバナーを委員長として、今回の様に地区内84クラブを対象に各クラブへ卓話をさせて頂きフォーラムを開催する研修委員会と、14分区を対象にロータリー情報研究会を開催し職業奉仕についての理解を深めて頂くクラブ研修委員会の二つの小委員会に分かれて活動しています。

今年度が始まる前に地区研修委員会は、既に6回の委員会を開催し、職業奉仕について学び、それをどのようにして皆さんにお伝えするかと話し合いを持ちました。新年度になってからも3回開催し、実際の卓話について皆様のお考えやご希望等、委員相互の情報交換をして出来る限り皆様のご期待に沿えるようにと工夫をしております。先日も地区大会でRI会長代理 田中 毅氏と元RI会長ビチャイ・ラタクル氏より職業奉仕について大変高尚な御講演を賜ったばかりです。

さて、CLPを導入され研究熱心な貴クラブで、しかも重鎮の皆様がお出でで、熱き思いを持っていらっしゃる成田空港南RCの皆様、稚拙な私の話をお聞き願うのは大変申し訳ありませんが、役目でございます。付け焼刃な所が多いと思いますが、RCの寛容と忍耐で是非で是非お付き合いを賜れば幸いです。

本日の演題は「なぜロータリーは、職業奉仕を大切にしているか？」です。

織田ガバナーは、その初心表明の中で「私達は例会に集い、相互に研鑽しあうことで人生を謳歌し、良き市民となるよう自らを導き、奉仕活動の実践によって地域を住みやすく働きやすい場所に変え、世界平和・国際理解を深め、世界をよりよい場所にしてゆこう。」と話されております。

ところがここ数年、政界・経済界等で腐敗や不祥事などが多発しております。私達ロータリークラブにおいても長期低迷が避けられず、一部耐震偽装事件や、コープミートの産地偽装、不二家の賞味期限の改ざん等ロータリーのメンバーの中からも違反者が出てくる始末です。ガバナーも大変憂慮するところ

です。

その一方で、地方にありながら元気に業績を上げている企業もあります。この元気印の会社の特徴をみると、

- ①挨拶が明るく元気にできている、
- ②掃除（5S）が行き届いている。また、
- ③社歌や社訓を真面目に唱和していると言う特徴があります。

あくまでも凡児徹底と言うことですか。

私達のロータリークラブもこれと同じことが言えるのではないかと思います。

まず国歌斉唱があり、ロータリーソングの斉唱、できれば綱領唱和があるといいなと思います。「今更綱領もないだろう」と思われがちですが、実際に会長幹事でもなければ手続要覧を広げることはありません。活動計画書には綱領や四つのテスト、ところによっては職業宣言が載っておりますが、これとて日頃手に取って読むことはまれだと思います。私も綱領を目にする機会はありながら、読んでおりました。2年前に会長エレクトになって、こうして皆さんの前にお伺いするようになって初めて手にするようになりました。織田ガバナーが綱領を大切に、そこから出てくる職業奉仕を大切にと言うことがようやく分かってまいります。唱和しただけで素晴らしい一週間が始まると思います。ご期待申し上げます。

さて、パーシー・ホジソンの「奉仕こそわがつとめ

P22」の中に次のような文章がございます。

紙屋の主人が「俺は二代目で、こんな職業を受け継いだのが運の尽き。紙なんてものはいくら作っても儲からないし、おもしろくもない。自分はどうもつまらない星のともに生れた」と思っていた。

ところがロータリーに入会してから、ある日突然考えが変わった。

「そうじゃないよ、人々の朝食のパンが、自分の所から卸されていた紙に包まれて朝げに供される。自分のところの紙によって包まれることがなかったら、不衛生な形で家に持って帰らなければならないだろう。

しかも食事と言うものは単に食欲を満たすためのものではない。宇宙を支配する神の秩序体系に帰一して、神に奉仕する、その肉体の生命を維持するために食事をするのであって、自分のところの紙の御蔭で、人々の朝げのパンが清潔なままテーブルに届き、それによって皆自分の健康を管理する事ができるのだと考えた時に、私は胸を張って自分の企業に邁進する事が出来るようになった。」

食事と言うものは、一つの宗教的な儀式であって、その宗教的な儀式に、自分のところで作った紙が使われると言うことは、やはりこれは天職として心をこめて作らなければならないじゃないかとそのロータリアンは考えた。

したがって、紙を作って商なっているという現象的に見る限りでは、悟る前と悟った後では同じなんです。紙を作り売ることの腹構え、心意気が違ってくる。「誇りを持って紙を作る。」これが職業奉仕と呼ばれる生活態度であり、考え方ではないでしょうか？

日本での例です。

30数年前のオイルショックの時に、ある製造卸売業者の二代目であるロータリアンは、先代から勤めていた番頭に「商売と言うものは何時損をするかわからない。儲かる時に思いきり儲けておかなければならない」と再三値上げをすすめました。しかし「私は先代から引継いだ職業の倫理に反す

るから」と、番頭は頑として値上げをしなかった。ところが、価格の変動期には必ず揺り戻しがあります。やがて不況期が訪れ、同業者が倒産して行く中で、その会社は以前にもまして注文が増えました。不思議に思って番頭が小売業者に尋ねたところ「あのオイルショックの時に、私たちの足許を見ないで、元の価格を守ってくれたのはあなたの会社だけでした。私達小売業者はあなたの会社には恩がありますので、どんなことがあってもあなたの会社から買うことにしております。」

シェルドンはここを見通しまして、he profits most who serves best 「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」申しました。商人としての責任を履行したために、シェアは三倍になったと言うことです。

以上の2例のように、経営者はまず自分の人格を形成し、企業の経営を奉仕の心で運営することで、さらに昇華して道德水準を高めて行く。

そうして職業を通じて社会に奉仕する。職業奉仕の高揚、これが職業奉仕の意味するところではないでしょうか？

ロータリーは、倫理の裏打ちのある企業活動こそが永続的に着々と利潤を積み上げて行き、この自由競争に必ず勝つと言うことを原理的にも実践的にも立証してゆくものなのです。（この項は齊藤 博パストガバナーの文章より抜粋）

元R I会長ガイ・ガイデンガー氏は「奉仕を実践する者は、まず、自分が受益者でなければならない」と述べています。

ロータリアンは、まず自分の事業の繁栄を考え、次に自分が属する業界全体の繁栄を考え、究極的には地域社会全体の繁栄を諮らねばなりません。

職業を持つ我々ロータリアンは、このようにして職業を通じて社会に奉仕できると言うことがつまり職業奉仕の理念なのではないでしょうか。

私達は、ロータリーに入会を許されたから職業奉仕をするのではなく、実は皆さんお一人、お一人が職業奉仕を実践して来られたからこそロータリーに入会を許されたのです。

言葉にしなくても、社会において自らの事業を継続、繁栄させるのは、社会から必要とされる仕事であること、そして、自分を律する高い道德心を持つ

ことによって自分自身の職業に自信と誇りを持つことができる、それが事業を繁栄させることを身にしみ分かっておいでです。

一方で、その高い道德心もちよとした出来心から簡単に消え、信用も簡単に潰れることも身にしみ分かっていのです。

織田ガバナー、土屋委員長は、職業奉仕を忘れたかのような現在の市場原理主義的なロータリーの在り方に、大変な危機感をお持ちです。

「ロータリーのロータリーたる所以は職業奉仕への取り組みにある、職業奉仕の概念『 I serve 』にある。これこそが、他の奉仕団体との根本的な違いである」としています。

土屋委員長は、この危機を乗り越えるのは先人が築いてくれた「ロータリーの精神と哲理」を次世代に伝承することであると話されておいでです。

つまり、『「職業倫理の高揚を図ることが、おのずと自己に還元されることを信じ、職業倫理の向上に責任と誇りを持って励むこと」、これを貫くこと。そして、複雑極まりない諸規定を単純、明快に見直し、ロータリーの綱領に掲げられた「有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成する」の基本に立ち返ることではないでしょうか。』と、お話されております。

約100年前の1905年に創始者のポール・ハリスは、

「寂しくて信頼できる友が欲しい。」と言う事で、友人3人と集い、各家庭を訪問し（これがロータリーの語源）、家族との付き合いの仲で親睦を深めました。田中先生のお言葉をお借りすると純粋親睦と言うことです。そして信頼できる友になり、お互いの情報交換をして商売的な絆を深めていったと話されております。

「歴史は螺旋階段の様に回ってゆく。」と言われておりますが、今私達の現状もちょうど100年を得て、まさにポール・ハリスが経験したのと同じ状態にいるのではないかと思います。

バブルがはじけて右肩下がりの状態があり、国も地方も大借金財政で先行き不透明感が漂っています。こうした中、地方の企業が元気を出せと言われても今一つと言うのが大部分ではないかと思います。

しかし、視点を変えてみると苦しい時代だからこそ、ポール・ハリスの様にこの難局を何としても乗り切りたいと思う人も多いはず。特に若い挑戦意欲のある企業人にはです。

卑近な例で恐縮ですが、八日市場ロータリークラブの若い皆さんは、正にこうした有為な人材の仲間入りを望んでおりました。こうしてみると、人材がないのではなく、私達がたまたまそうした有為な若い人材に巡り合っていなかっただけと言うこともできます。ただ、黙っていて素直に入ってくれるほど甘い時代ではありません。こちらの熱き想いがまずあって、その思いが相手の心に焼き付いて、「これはこの会に属しないと大変な損になってしまうぞ」と相手に思わせるだけの一個人になることが肝要です。

以前、私も会長をお受けするまでは、「そのうち解るよと言って36年。」と言うことが言われてきましたが、まさに自分がロータリーについて如何に無知であったかを恥じました。それから多少学びはしましたが、本日もこうしてお伺いしても、よく理解もせずにお話をし、皆様にご迷惑をおかけしてしまい、自分の浅学菲才を恥じるばかりです。ただ、救いはロータリーも100年を経てこうした素晴らしい組織と陣容を備えたということで、少しでも学んで近づいて行ければと思うばかりです。

皆様のお手元にロータリーの綱領と職業宣言と四つのテスト等を配布してございます。資料として置いて参りますので、参考にして頂ければ幸いです。

過日地区大会でのR I 会長代理 田中 毅氏のお話の中にございましたが、「ロータリークラブは二つの重要な役目を持っている。一つは純粹親睦で、二つ目は職業奉仕の実践です。魅力的なクラブを作るためには例会を重視し、特に会員の卓話は重要であり、各会員は一年に一回の卓話に率先して取り組み、情報を提供し、例会によって会員相互が学び合える場としよう。魅力ある例会を創ることで会員の参加意識も高まる。また、会員の誇りとメリットがはっきりすれば入会を待つ人は沢山いる。」と話されました。

また、米山梅吉翁は、「ロータリーの奉仕の真髄は、ロータリアンの自己研鑽にあり、ロータリーは人造りの場である。」と話されました。自己を研鑽するとは心を高めるということであり、人格を高めるといふ事になります。そして、その高めた人格を夫々の事業に反映させようということなのです。

ロータリアンには週一回の例会があります。自己研鑽に励み、己の足らざるところを仲間から学ぶところが例会です。その学びを事業に反映させることによって次のような恩恵にあずかれます。

第一点は、色々なものを学び、自己改善をはかり、精神的向上の成果を企業経営に向ければおのずと企業管理が円滑に行え、安定した成果が得られる。

第二点は、例会を通じて自己研鑽を遂げ、その成果を自分の職場に適用させる時、ロータリアンが受益者になる。ロータリーに入った以上は、仕事が上手くゆきます。

まさしく、ロータリーの理念は、この不況の時に、私達職業人である経営者のたどる道を指し示してくれるものです。思いやりを常とし、利己心を抑え、利他の心を優先し、物事を判断してゆく上でも、「私として正しいか、正しくないかでもなく、会社として正しいか、正しくないかでもなく、人間として正しいか、正しくないかで判断しなさい。」と

いっているようにも理解できます。そして、おのずとそこから物事の解決の道が見えてくる、つまり見えないものが見えてくると言うことではないでしょうか？

「ロータリアンはバッジ一つで世界の社外重役と知り合える。」

世界に120万人を超えるロータリアンがおります。自分が望めば、その人材に教を請うことも可能です。同業者には話せないことでも心の通った友人ならば、相談することが可能です。まさに経営については素晴らしい社外重役とすることが出来ます。

元R I 会長ビチャイ・ラタクル氏は、先の地区大会の講演の中で、「ロータリーバッジを着けると言うことは、『私は正直で、真っ直ぐで、思いやりの心をもった人間です。』と表明していることです。私達は大事なことをしていると自覚をするべきだ。誰のために生きるのか、前向きなリーダーシップを考えよ。」と話されました。

一方、会員増強では皆さん悩んでおいでです。前段でご紹介いたしました、私の少ない経験の中でも1年に7名の、前年度を含めると12名のメンバーに仲間に入って頂きました。今、若いメンバーには（女性

会員2名を含めて)小委員長をお願いし、八日市場R Cの活性化に大きく貢献して頂いております。今年度の鶴澤会長はその初心表明の中で、「会員増強は最大の奉仕だ。」と喜んでおられます。ぜひ、貴会でも多くの若い企業人を、特に女性の企業人に参画頂けるよう挑戦されては如何でしょうか?女性が入会されると、例会が華やかになります。参加するのも楽しくなるのは男の本音でしょうか?そして、「心から信頼できる友人ができるのならば、」と、その機会を待っている企業人は沢山いると思います。一方で、1929年の恐慌の中でもロータリアンは誰一人も潰した人は居なかったと言われております。お互いが情報交換をし、切磋琢磨して企業成長を遂げたと言われております。私もこれを信じて行動しようと思います。

冒頭お話させて頂きましたが、職業奉仕については解答の無い奥深い命題です。色々な考え方があろうかと思われまます。本日の卓話はあくまで私の私見でございまして、問題提起の一つとして、一石を投じたものでございます。聡明な皆様の租借に堪えないお話であったかと反省しておりますが、一重にR Cの発展を想ってのことでございますので、至らぬところは平にお許し願いたいと存じます。

職業奉仕の大切さを再確認され、ますます元気ある成田空港南R Cとなりますよう祈念いたします。また森川 忠会長様、行木 英夫幹事様はじめ成田空港南ロータリークラブ会員様企業の益々のご清栄を祈念いたしまして、整いませぬが卓話とさせていただきます。

本日は誠に貴重なお時間を賜り、駄弁をお聞きいただき、感謝申し上げます。有難う御座いました。なお、先月の「ロータリーの友」には、「10月は職業奉仕月間」と言うことで、「職業奉仕の神髄を探る」と題する特集が組まれております。6Pには、永遠の課題「職業倫理」について、11Pには「四つのテスト」その由来を紐解くについて寄稿されております。参考にして頂ければされに理解が深まると思っております。宜しくお願い申し上げます。



## ニコニコボックス

青柳誠君・菅井直秀君・富一美君・森川忠君  
・小林定雄君・行木英夫君・秋葉講一君  
・倉石昌治君・

…片岡様ようこそおいで下さいました

又、卓話をありがとうございました

椎名籙一郎君

…地区大会は体調不良にいたり欠席し申し訳  
ございませんでした

片岡様卓話をありがとうございました

河野和夫君

…雨が上がってよかったですね

片岡様卓話をありがとうございました

杉森幹男君

…母が第62回千葉県展書道の部に入選しました

本日計	13,000円
累計	393,000円

## 出席報告



例会日	会員数	出席	MU	%
11月18日	42	32	4	85.7

☆ 欠席をしたらメイクアップをしましょう ☆